

高含水比粘土を再生資源化するための簡便・低コストな脱水方法

主たる提供特許

出願者	長崎大学
題名	脱水装置
番号	特願2020-061071

大型機械の使用や移送の必要が無く、現地で使用可能

技術概要

発明の背景

近年、建設時の発生土は、建設副産物の処分場の確保や環境負荷の点から、廃棄物ではなく再生資源として活用されています。しかし発生土の中でも高含水の「泥土」は、セメントを混ぜても硬化しにくいいため高圧脱水する方法が用いられていますが、高度な装置が必要であり、コスト的にも課題があります。そのため低コストなサイフォン原理を利用した脱水が検討されましたが、現状、含水比を十分

発明概要

本発明は、繊維素材を用いた、より簡便・低コストで、現場対応可能で有効的な脱水方法です。

<モデル実験



直後

7days



直後

7days

特長

- ・大型機械の使用や運搬などがなく、実地で用いることができる。
- ・初期含水比145%程度の粘土を、1週間で110%程度、1ヶ月で90%以下に、低減可能。
- ・簡便に設置・撤去ができる。

応用分野

実用化例

- ・建設発生土, 建設汚泥, 浚渫土などの含水比を低下させる工法
- ・浄水汚泥への適用

企業へのメッセージ

実用化にご協力頂ける企業様を探しています。